

企画提案書(別紙)作成要領

●企画提案書(別紙)の構成

- (1) 課題(任意様式)
- (2) 作成意図の解説(任意様式)
- (3) 広報紙以外の情報発信と地域密着(任意様式)

●課題(任意様式)について

令和6年9月号2ページ～7ページに掲載の記事「特集 町の特色ある保育・教育」を明るく、楽しく、笑顔があふれ、ページをめくりたくなるような記事に再編集すること。実際に発行した記事は6ページ構成だが、偶数ページであれば増減してもよい。また、必要に応じて情報を取捨選択し、独自のレイアウトやデザインを用いて編集しても差し支えないが、以下の趣旨が正しく伝わるようにまとめること。

趣旨

町内の各園・各校では個性を伸ばす特徴的な保育・教育の取組を行っている。本特集では単なる取組の紹介にとどまらず、町と教育機関が連携し、多様なニーズへの対応力を備えた、町の将来を担う人材育成に対する思いを町民に発信している。町民が本特集を目にすることによって、町の保育・教育に興味・関心を持つきっかけにしたい。

* 審査課題作成における留意事項

- ア 再編集は町が提供する InDesign データを元に行うこと。
- イ InDesign データの提供は参加資格を満たすと認められた者に個別に行う。
- ウ 参考までに町が編集した原稿を以下に掲示する。
<https://www.town.aizumisato.fukushima.jp/material/files/group/3/kouhou9.pdf>
- エ Adobe InDesign、Illustrator、photoshop を用いて編集すること。
- オ 特集記事として完成した状態とすること。
- カ 原稿の文章や項目のリライト・省略・削除は行ってよい。
- キ ユニバーサルデザインに配慮したデザイン、レイアウト、色調になるよう工夫すること。
- ク 提供されたデータは課題の作成のみに使用し、本プロポーザル終了後、ただちに削除すること。

●作成意図の解説(任意様式)について

再編集した紙面の作成意図について、以下の項目に沿って記載すること。

項 目	内 容	記載例
1. 編集の方針・狙い	紙面全体を通して、どのような点に重点を置いて編集したか(例：見やすさ、親しみやすさ、情報の整理など)。	全体を通して、誰にでもわかりやすく、親しみやすい紙面を目指した。特に高齢の読者にも配慮し、文字サイズや余白のバランスに注意した。また、堅くなりすぎないよう、柔らかい表現を意識した。
2. 構成やデザインの工夫点	ページ構成・レイアウト・色使い・図表・写真・文字サイズなど、視覚面で工夫した点。	各ページに共通の見出しデザインを設けて統一感を持たせた。重要な情報には色付きの囲みを使用し、視線を誘導できるようにした。写真やイラストを適度に配置し、文字ばかりにならないよう配慮した。
3. 情報の取捨選択について	省略・要約・補足した内容がある場合、その理由と意図(例：読者層に合わせた調整、重複情報の整理など)。	情報の取捨選択について 事業の背景説明が長くなっていたため、要点を簡潔にまとめ、詳細は図解で補足する形式に変更した。重複している内容や細かすぎる説明はカットし、全体の流れをすっきりさせた。
4. 趣旨の伝え方に関する工夫	趣旨や重要なメッセージをどう伝えようとしたか、その表現の工夫点。	堅い印象を避け、タイトルや導入文をやさしい語り口に変更した。抽象的な表現を避け、具体的な事例や数字を交えて説明することで、内容の理解が深まるように工夫した。
5. その他、特記事項	上記以外に伝えておきたいこと、意図的に採用したデザインや言い回し、想定読者などがあれば記載。	ページ数は当初の6ページから8ページに増やしたが、読みやすさを優先した結果であり、情報の重みづけを意識した構成にしている。

●広報紙以外の情報発信と地域密着(任意様式)について

下記2点について記載すること。わかりやすく図や写真を用いて記載しても構わない。

1. 広報紙以外に町の魅力を発信する場合、なにを用いて、どのように発信するか記載すること。
2. 町内の団体やコミュニティなどとのつながりを持っているか。また、そのつながりを活かして今後どんな広報紙でどんな企画を実施したいか記載すること。